

久留米大学では、他施設と共同で実施する下記研究のために、受診時に患者さんから取得された診療情報等を共同研究機関に提供しています。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

肝硬変に対する脾摘の生命予後に与える探索研究

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者（情報の管理責任者）】

研究代表機関（研究代表者）：久留米大学医学部外科学講座肝胆膵部門 後藤祐一

診療情報等の提供先：社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院外科 診療部長 緒方俊郎

【研究分担施設・研究責任者】

- ・社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院外科 診療部長 緒方俊郎（データ収集・分析）

【診療情報の対象者（研究対象者）】

- 1) 受診期間：1995年4月～2011年9月の間に受診
- 2) 受診科：久留米大学病院外科および消化器内科
- 3) 対象疾患名：肝硬変にて脾摘した方と肝硬変にて脾摘せず加療を受けている方

【診療情報等の項目】

診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、生年月日、治療歴、既往歴、CT画像、背景肝（HCV/ HBs-Ag/ Alchol/ AIH/ others）、肝細胞癌合併の有無、食道静脈瘤合併の有無、脾臓の重さ/脾臓の容量等】

授受の方法： 郵送・宅配 電子的配信 直接手渡し その他（ ）

【研究目的】

上記の診療情報を使用し、肝硬変に対する脾摘の予後を調査して、脾摘が肝硬変患者の生命予後の改善に寄与するか否かを検討する。

【研究（利用）期間】久留米大学倫理委員会承認後から2022年12月31日 まで

【利益相反に関する事項】

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません

【問い合わせ先】

（本学）研究責任者：久留米大学医学部外科学講座肝胆膵部門 助教 後藤祐一

問い合わせ担当者：久留米大学医学部外科学講座肝胆膵部門 助教 後藤祐一

電話：0942-35-3311（内線3541）

E-mail: enattendantgodot5@mac.com